



▲熱心に宿題に取り組む児童

▲宿題のあと少しおしゃべり



▲ただいまと元気にあいさつ



元気な子どもたちの笑顔あふれる
地域づくりへ
土山かしきや児童クラブ

かしきや児童クラブには、現在、8人の児童が通っており、地域の皆さんの温かい気持ちに支えられています。中嶋市長が訪問させていただいたときには、子どもたちはまだ帰っていませんでしたが、しばらくすると「ただいま」の元気な声。早速市長の横で宿題を済ませ、一緒に記念撮影。健やかに成長する子どもたちに市長も目を細めていました。

水口地域で活動中の子育て支援サークルに続き、土山地域の放課後児童クラブ「土山かしきや児童クラブ」に寄せていただきました。

現在、市内各地域では、学校が終わってからの放課後の時間、保護者の仕事の関係などから、家が留守になる子どもたちを、地域みんなで守り育てる取り組みをいただいています。今回訪問させていただいた土山かしきや児童クラブもその一つで、開設から10年が経過しました。

町屋風古民家を改修、文化の伝承と
地域コミュニティの場に
つどい・ふれあう活動拠点 扇屋と落合館

最後に訪問させていただいたのは、旧東海道土山宿の街道に整備中の「つどい・ふれあう活動拠点 扇屋と落合館」です。

この施設は、土山町北東区の方が、住民の高齢化や商店の閉店が進み地域の活力が弱くなりつつあることから、街道沿いの町屋風古民家を購入、改修して地域の活性化をめざそうと整備されたものです。



▲地域の方から説明を聞く中嶋市長



今回は、地元の小山区長さんらにご案内いただき、事業にかかる地域の熱いお気持ちを聞かせていただきました。

また区長さんらから聞かせていただいた地域の方の大変なボランティア活動に市長も驚き、地域の絆やつながりの強さが本事業を成功へと導いたと感心していました。

今後、同施設は、地域の情報や当市の情報が発信される場として、また地域住民の方のコミュニティの場となることに各方面から期待が寄せられています。



▲旧東海道にマッチした外観

空き店舗を改修、
育児支援サークルの拠点に

コミュニティカフェ・アプリコット



▲憩いの場での団らん

今回、最初に訪問させていただいたのは、「コミュニティカフェ・アプリコット」です。このカフェは、NPO法人「育児ひろばアプリコット」が、子育て奮闘中のママに、ほっとできる場を、と始められたものです。育児中の保護者の方が子ども連れでも気軽に立ち寄れるカフェを作ろうと計画、商店街の空き店舗を改修し営業されています。



▲代表の鹿田さんから説明を聞く中嶋市長



▲ベビーベッドも完備されています

今回、お伺いしたときにもお母さんたちが子どもさんを連れてご来店されており、楽しい時間を過ごされていました。限られた時間ではありましたが、アプリコットの活動や、ご来店のお母さんから育児についてのお話などを聞かせていただきました。

なおカフェの営業時間など詳しくは、本紙11月1日号のまちかど特派員のページでご紹介しています。

市では、現場を大切にしたい市政運営を進めるために、様々な施策を展開しています。市長ぐるっとエリもその一つで、市民の皆さんから直接ご意見を聞かせていただく大切な機会です。
今回で20回目を数えた市長ぐるっとエリは、2月15日に実施、市内3か所を訪問させていただきます。

